



































チャレンジ項目記入数

8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・定款目的に基づいた当法人のあるべき姿を、理事長が職員に説明し共有している。 ・職員は、自らの使命を理解し業務を遂行している。 ・法人のあるべき姿の実現に向け、課題解決、新しい事業に挑戦する意識の醸成に取り組んでいる。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・各種規程、マニュアルを備え、法令を遵守する体制を整備している。 ・全職員に対し、定期的にコンプライアンスに関するアンケートを実施するなど、意識高揚を図っている。 ・定期的な会議を通じて、コンプライアンス及びガバナンス意識の共有化を図っている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・就業規則に服務規律を定め、不正競争行為に関与しない意識付けを図るとともに職務の遂行にあたり、公正誠実であることを明文化している。 ・委託、物品購入など公正な取引に取り組み、職員に対し、その重要性を発信している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・処務規程を制定し、事務分掌、職務権限を設け、各々が責任をもって事業に従事している。 ・各事業を通じ、市民の便益向上を推進しており、それぞれの事業に関する責任者を定めている(各所属長)。社会、環境に及ぼす影響への対応については総務課が担当している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・業務ノウハウ等については、マニュアルを整備している。 ・業務遂行上得た個人情報は、盗用されないよう厳正に管理を行っている。 ・著作権に該当するものを使用する必要がある場合は、確認を取る等、著作権等を侵害することのないよう入念なチェックを行っている。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の保護に関する規程を策定しており、取扱いの確保、業務遂行上の情報漏洩防止に対する必要な措置等について、具体的な対応策を示している。 ・職員等のマイナンバーの取扱いについて規程に基づき担当者を決め、適切に管理している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・各事業において定期的なアンケートなど、市民の声(特に苦情)の把握に取り組んでいる。 ・適宜、業務上関連のある組織とコミュニケーションを取り、適切に対応している。 ・法人の運営に関することなど行政機関(熊本市上下水道局)と連携した取組みを進めている。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・人権侵害や生物多様性、ハラスメント等の倫理面については適切に対応し、サプライヤーや取引先との間で重要であるとの認識を持ち、取り組んでいる。					5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・事業継続計画(BCP)を策定し、随時見直しを図るとともに、熊本市上下水道局が実施する訓練に参加している。 ・熊本市上下水道局と「災害等発生時における応急対策活動の協力に関する協定」を締結し、災害発生時には支援協力を行う。										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・安定的かつ持続的に事業を継続するため、自主事業に関してはアンケート等により市民ニーズの把握に努めている。また、中期的な収支見込みを検証しながら、新規事業等への取組みを進めるとともに新規採用並びに職員の資質向上及び管理職育成等に取り組んでいる。									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5				8				12	13	14	15	16	17


















チャレンジ項目記入数

8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスメントの禁止について、就業規則(要綱)に定めている。 ・ハラスメントに関する相談窓口を設置している。 ・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生委員会を設置し職員の安全衛生管理を行っている。 ・メンタルヘルス(心の健康)を確保するために、「心の健康づくり計画」を策定し、職員の労働環境の把握と改善に向けた啓発活動を実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・適正な人事評価制度の構築・運営による公正な待遇の実現に取り組んでいる。 ・厚生労働省「同一労働同一賃金ガイドライン」を理解し、ガイドラインに沿った体制の整備・運営を行う。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理や、業務効率化の推進など働き方改革への取組み、有給休暇等の取得状況の把握と取得奨励を実施している。 ・育児休暇や介護休暇について、就業規則に定めワークライフバランスのための環境を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。 ・業務上必要な研修等へ定期的に参加している。 ・資格取得支援のための費用を一部支給している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎日の朝礼時と帰社後にアルコールチェックを行うとともに、交通事故等への注意喚起や健康増進への取組みの促進を行っている。 ・職員の心身の健康維持を図るため福利厚生の一環として「ふれあう共済」に加入している(例:人間ドッグ等健康診断の経費補助など)。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・60歳以降の雇用については本人の希望と健康状態により雇用延長している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・効率性向上や私的時間の有効活用を図るため、時差出勤制度を導入している。 ・会議や研修等においては、オンライン形式による参加を積極的に推進し、交通費等のコスト削減を図っている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					


















チャレンジ項目記入数

8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質の使用はない。 ・熊本市事業所グリーン宣言事業所として登録をしている。 ・エコアクション21に準じ、職場内におけるゴミの分別基準(資源ゴミ、可燃ゴミ、プラゴミ、金属など)を明確化して3Rを実施して廃棄物の減少に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・毎月の電気、水道、ガソリン等のエネルギー使用量の把握と削減活動に取り組んでいる。 ・クールビズの実施や事務所内において昼休みに消灯するなど節電に取り組むことで電力消費量の抑制に取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・水源涵養林の育成管理を通じ、熊本県森林吸収量認証を得ている(令和5年度二酸化炭素吸収量3.55t-CO2/年)。 ・熊本市事業所グリーン宣言事業所登録し、毎年エコチェックシートに基づき温室効果ガス排出量の状況、削減状況を算出している。 ・冷暖房について、温度管理による使用に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び職員の活動において廃プラやレジ袋等の使用削減に取り組んでいる。 ・環境に配慮した製品等の購入を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいる。 ・緑地や水辺の整備など、生物の生息・生育地などに関して事業を通じた啓発を行っている。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙の使用、裏紙の利用を推進している。 ・環境に配慮した材料、製品の購入を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・汚水等の適切な処理に関する啓発を行っている。また、節水器具を使用し「節水」に取り組んでいる。 ・水源かん養林の育成管理に取り組むとともに、くまもと地下水財団の賛助会員として地下水保全活動を支援している。また、当法人の事業活動がくまもと地下水財団の定める地下水保全顕彰制度において、最上位のゴールド認定を受けている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・ごみの分別などエコアクション21に準じた取組を推進している。 ・グリーン購入の推進など環境に配慮した製品の購入に取り組んでいる。 ・再生用紙使用を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・平成20年から大津真木地区の土地に植樹し、継続的に水源涵養林の育成管理に取り組んでいる。							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・イベント実施時など事業活動中に活動中に出たごみについては、持ち帰りや適切な処理を徹底している。													12.2 12.5		14				
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

チャレンジ項目記入数

8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・提供するサービスの質を確保するため、アンケートの実施などにより市民の意見を聞き、関係者で共有、活用している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・指定管理者として運営している施設(熊本市水の科学館)において、4か国語案内パンフレット(日本語、英語、中国語、韓国語)を作成し備置きしている。また、会話が可能なツールとしてAI通訳機(ポケットク)を準備し、サービス提供に取り組んでいる。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・職員に対し、居住する地域の活動に参画するよう奨励している。 ・熊本市内各地域の避難所運営委員会及び避難所担当職員が関係する防災活動等に参画している(マンホールトイレや貯水機能付き給水管の使用方法等の研修等を依頼を受け実施している)。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・熊本市上下水道局が行う防災訓練等に定期的に参加している。 ・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・BCP(事業継続計画)を策定し、随時見直しを図っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・熊本市内各地域の避難所運営委員会及び避難所担当職員が関係する防災訓練等において、災害対応設備(マンホールトイレや貯水機能付き給水管)の機能、設置及び利用等に関する研修等を通じ、防災意識の高揚を図る取組みを行っている。 ・熊本市上下水道局と「災害等発生時における応急対策活動の協力に関する協定」を締結し、災害発生時に支援協力を行う。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・上下水道に関する知識の普及啓発事業等(出前教室や上下水道施設見学)を通じて、小学校などに対しSDGsに関する取組みなどの啓発や教育機会の提供を行っている。 ・法人内においてもSDGsに関する意識の高揚を図る取組みを進めていく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4					8.6		10.2						17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6								17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15	